

二次審査（技術提案書及びプレゼンテーション評価）における審査の視点について

提案テーマ	内容	設計事業者としての適格性、独創性、実現性等を総合的に評価します。 ■適格性 ：基本構想の内容を十分理解・反映させた技術提案であり、施設整備に関する住民ニーズの実現や現在の施設の課題を解決できるものであるか。 ■独創性 ：独創性があるか。また、整備内容に示すもの以外に提案がある場合、基本コンセプトの実現に資する提案であるか。 ■実現性 ：提案内容の裏付けとなる内容（実績・数値等）が示され、説得力があるか。	主な基本構想の関連箇所
1 施設計画	①「“やすらぎ”と“ほほえみ”のまち」や「子育てしやすいまち」のイメージを象徴する魅力的な外観を有するホールに関する考え方	○ホールの外観について、「やすらぎ」「ほほえみ」「子育て」のイメージに合い、魅力的なものとなっているか。 ○小さい子どもから高齢者まで、全ての世代に受け入れられるものか。	P22(2)-①
	②活動をホールのみで行うことができ、利用形態に応じた、利用しやすいホールの環境整備（音響の切り替え・座席の工夫、諸室等の整備など）に関する考え方	○多目的利用に適したホールであるか。（音響の切り替え、座席の工夫、設備にどのような工夫がされているか。） ○舞台は現状（10m×5.7m）より拡張したもので、座席を400席程度としているか。（過大・過小とっていないか。） ○舞台や客席数に応じた楽屋、リハーサル室等の数や規模が適切であり、舞台裏に通じる動線について配慮されているか。 ○舞台機構、機器類は利用者が自ら操作しやすいものであるとともに、プロの公演にも対応できるよう配慮されているか。 ○コロナ禍のような状況に備えた配慮がされているか。（換気性能が高く、静音性が高い空調）	P24(3)-②③
	③施設の安全性の確保及びユニバーサルデザインの取組に関する考え方	○障がい者、高齢者、子ども、妊婦等、誰もが安全・安心に利用できるよう、配慮されているか。 ・洋式トイレ、多機能トイレ、授乳室、施設案内サイン、手すりの整備等 ・特にホールは、車いすでの利用者に配慮されているか。（座席の在り方、通路の幅、段差）	P24(3)-③
2 土地利用計画	①周辺環境との調和に関する考え方	○周辺の景観と調和が図れるよう、配慮されているか。（公民館、老人福祉センター、ふれあいセンター、役場等のエリア）	P22(2)-①
	②公民館、ホール及び近隣公共施設利用者の様々な交通手段に配慮した駐車場等の整備や、利用者等の安全な動線の確保に関する考え方	○駐車場・駐輪場・車寄せの整備の在り方が、舞台の広さや座席数を考慮して妥当であるか。 ○公民館、ホール、近隣公共施設利用者や通行人の安全を確保できるよう、動線（車・バイク・自転車、歩行者）に配慮されているか。 ○ホールの敷地には、効率的な機材搬入の動線が確保されているか。 ○「防災拠点機能の確保」の提案内容が、妥当であるか。	P24(3)-③
3 新たな利用促進等	①誰もが気軽に立ち寄れるような、開放的で居心地の良い空間の整備に関する考え方	○小さい子どもから高齢者まで、全ての世代に受け入れられ、生涯を通じた利用に繋げることができるか。 ○諸室等の利用用途に応じ工夫がされた空間設計であるか。（間取りの取り方、内装・建具類・照明等の工夫） ○公民館のロビーやホールのホワイエなどのオープンスペースは、両施設の共有利用を図ることができ、誰もが気軽に立ち寄れるような工夫がされているか。	P24(3)-①
	②定期利用団体の活動の継続や利便性の向上と、学生、若者、子育て世代及び社会人現役世代等の利用促進を両立できる諸室・機能・設備の整備に関する考え方	○定期利用団体や、学生、若者、子育て世代及び社会人現役世代等の施設整備に関するニーズ（アンケート調査結果）が取り入れられているか。 ○現在の各諸室の利用状況（貸し室別利用率・利用時間【基本構想P28】、定期利用団体の平均活動人数、活動曜日・活動時間・活動場所【P31～32】）を踏まえ、効率的な施設運営が可能となるような諸室（間取りの組換えを含む）等の提案であるか。 【各年代で整備に係るニーズが多いもの～住民無作為抽出アンケート調査結果より～（基本構想P17）】・・・（ニーズが多い年代） ①Wi-Fi環境、PC、コンセントを整備した自習やテレワークができる貸室の整備・・・・・・・・・・16～19歳、20歳代、40歳代 ②施設全体の雰囲気改善（明るさ・清潔感・おしゃれ感・開放感）・・・・・・・・・・30歳代、50歳代、60歳以上 ③小さい子ども連れでの利用に配慮した整備（小さい子どもと一緒に利用しやすい貸室や・・・・・・・・・・30歳代 キッズスペース（オープンスペース）、授乳室、給湯室、多目的トイレ） ④音響設備・壁鏡・防音機能を備えた、運動ができる貸室の整備・・・・・・・・・・16～19歳、20歳代、50歳代 ⑤オープンスペースや貸室での飲食の許可、売店（カフェ）の整備・・・・・・・・・・40歳代 ⑥トイレの洋式化、EV設置等のユニバーサルデザインの取組・・・・・・・・・・60歳代以上 ⑦音響設備、防音機能を備えた音楽活動ができる貸室の整備 【基本構想に示す整備内容（公民館） P24】 ・小さい子ども連れで利用しやすい部屋の整備 ・定期利用団体の活動に適した部屋及びスペースの整備及び備品収納場所の確保 ・自習、テレワークができる部屋の整備（個人の仕切り・Wi-Fi環境・コンセント・PC） ・運動・音楽活動に適した諸室の整備（床材・防音・防震仕様、音響に配慮した空間、音響設備・壁鏡・てすり） ・各種会議や講義等に適した部屋の整備（ホワイトボード、TVモニター、荷物棚等） ・住民の交流や、なごやかな雰囲気のミーティング等に適した部屋の整備 ・設備・備品の更新（キッチン設備、電気釜、プロジェクター、スクリーン、PC、展示ケース等） ・館内全体にWi-Fi環境を整備 ・自動販売機（飲料・軽食）の設置（原則、全館飲食可に） ・印刷室・応接室を一体化させた事務所の整備等の諸室再編	P17 P24(3)-② P28 P31～32
4 コスト抑制	①必要な機能と品質を確保したうえでのインシャルコストの抑制に関する考え方	○必要な機能と品質を確保したうえで、インシャルコスト（工事費）抑制の方策が妥当であるか。	P24(3)-③
	②中長期的なライフサイクルコストの抑制、施設運営に係る光熱水費などのランニングコストの抑制に関する考え方	○日常的な維持管理（電球の交換、空調・電気設備等の点検）が容易にできるよう、配慮されているか。 ○光熱水費などのランニングコストを抑制するために、空調・電気設備等の省エネ化以外に、どのような工夫がされており、効果が期待できるものであるか。 ○植栽の提案があった場合、植栽の数や規模が適切で、維持管理コストがかからないよう、配慮されているか。	P24(3)-③
5 工事の効率性	施設の休館期間及び事務所の利用不可能期間が最小限となるように配慮した工事手順や仮設計画の工夫、工事期間中の駐車場の確保及び通行人等の安全性の確保に関する考え方	○現在の施設が少しでも長く利用できるよう、配慮されたものであるか。 ○工事期間中の駐車場の確保、及び通行人等の安全性の確保の方策が妥当であるか。	-

